

平成29年3月

講習会・セミナーのご案内

一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan

入門編

応用編

法令解説

技術セミナー

計算演習

構造

技術セミナー「基礎から学べる構造設計シリーズ／RC造編」
（基礎Ⅲコース（1日））＜限界耐力計算、RC造建築物の構造計算演習＞

RC造建築物の限界耐力計算について演習（手計算）に取り組みながら学べる1日講習です。

■「ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習帳

【限界耐力計算編】」が発刊されました！

技術セミナー「基礎から学べる構造設計シリーズ／RC造編（基礎Ⅲコース（限界耐力計算））」の講義・演習用テキストが販売書籍化（平成27年12月）されました。本書は、豊富な解説と図版等により限界耐力計算について分かりやすく解説するとともに、要所に手計算の演習問題を盛り込むことで、実際に手計算しながらRC造建築物の限界耐力計算を学べる内容となっております。

■限界耐力計算とは

平成12年に建築基準法に導入された構造計算法で、解放工学的基盤で規定された加速度応答スペクトル、地盤増幅等と建物との相互作用から求めた加速度応答等を基に建物の応答値を決め、建物の耐震安全性のための損傷限界と安全限界を確認するもので、比較的難解な計算法と言われてきました。

■講習会の概要

テキストである「ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習帳【限界耐力計算編】」の執筆者を講師に迎え、限界耐力計算法の理解と計算手順の習得を目標に、講義と演習を行います。

特に演習では、設計例題建物（RC造）について限界耐力計算による構造計算（手計算）に取り組んでいただき、複雑で高度な計算法と言われる限界耐力計算について実際に手を動かしながら学習する1日講習会となっております。

＜テキスト＞

「ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習帳【限界耐力計算編】」（発行：日本建築センター）

A 4版、160頁、

ISBN：978-4-88910-165-2

定価：4,320円（税込）

※全国の書店又は当センターでご注文・ご購入できます。



※ご受講に際して

本講習会は、許容応力度計算及び保有水平耐力計算を理解している方を対象に構成していますので、事前にこれらの計算法について理解しておいて下さい。また、テキストは、事前に購入することができますので、是非、事前に購入して予習されることをお勧めします。これにより、講義・演習の理解がより深まります。

主催 一般財団法人 日本建築センター

※本講習会は、（一社）日本建築構造技術者協会（JSCA）の建築構造士登録更新のための評価対象講習会（予定）です。詳細は、JSCAのHPを参照して下さい。

開催日	開催地	会場	定員
平成29年3月21日（火）	東京	晴海トリトンスクエア オフィスタワーZ（ゼット）棟／4階会議室 東京都中央区晴海1-8-12	60名

※受講者数が最小催行人数に達しない場合は、中止させていただくことがありますので予めご了承下さい。

時間	内容（予定）	講師（予定）
10:00～17:00	1. 限界耐力計算とは 2. モデルプランの概要と設計方針 3. 限界耐力計算方法の流れ 4. 建築物に要求される性能（損傷・安全限界状態） 5. 各限界状態時の耐力・応答の評価と性能の検証 6. 保証設計	「ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習帳【限界耐力計算編】」 編集委員 椋山 健二（芝浦工業大学） 楠 浩一（東京大学）

※プログラムは、休憩を含みます。都合により、講師・プログラム内容等が変更になる場合があります。

受講料（税込）	テキスト代（税込）	備考
一般	16,000円	4,320円
情報交流会 正会員	14,400円	3,880円

＜テキスト＞
「ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習帳【限界耐力計算編】」（発行：日本建築センター）
A 4版、160頁、ISBN：978-4-88910-165-2
定価：4,320円（税込）

※テキスト：購入のお申し込みをされた方には、当日お渡しします。購入されない場合は、必ずご持参下さい。

※筆記用具と**関数機能付き電卓**を必ずご持参下さい。

※講義中のPC等の使用はご遠慮下さい。会場には、電源等の準備はありません。

※裏面のご入金方法をご確認の上、お申し込み下さい。

▲▲講習会申込書▲▲FAX : 03-5281-2828

RC+20161118 (裏)

お申し込み手順・ご注意

1	「本申込書のFAX」又は「BCJ Webサイト： http://www.bcj.or.jp 」によりお申し込み下さい。定員に達し次第、受付を終了致します。	3	「複数の請求にかかる代金を一括してご入金される場合」や「申込内容を訂正される場合」は、事前にご問合せ先にご連絡下さい。入金確認後に【参加証】をFAXで送付致しますので、当日受付にご提出下さい。
2	【請求書】は、開催日の約3か月前から集金代行会社が発行・郵送致します。「1申し込みにつき1枚」発行します。請求書記載の期限内にお支払い下さい。	4	主催者側の都合により講習会が中止となった場合は、受講料及びテキスト代を払い戻します（振込手数料は主催者が負担）。それ以外の理由による入金後のキャンセル、変更及び払い戻しは致しません。

◆問い合わせ先◆ 一般財団法人日本建築センター情報事業部 TEL : 03-5283-0477

技術セミナー「基礎から学べる構造設計シリーズ／RC造編」 (基礎Ⅲコース(1日)) <限界耐力計算、RC造建築物の構造計算演習>

参加会場をお選び下さい (○印をご記入下さい) ▼		▼決済方法をお選び下さい (○印をご記入下さい) ▼		
平成29年 3月 21日 (火)	東京	銀行振込 <small>振込手数料お客様負担</small>	コンビニ決済 <small>振込手数料不要</small>	ゆうちょ振替 <small>振込手数料不要</small>
受講料 (税込)		テキスト代 (税込)	合計 (税込)	▼該当する金額欄に○印をご記入下さい
費用	一般	16,000 円	4,320 円	20,320 円
			持参する	16,000 円
	情報交流会 正会員	14,400 円	3,880 円	18,280 円
			持参する	14,400 円
テキスト：ひとりですべるRC造建築物の構造計算演習帳【限界耐力計算編】 ●テキストについて ・必要な場合のみお申込み下さい ・購入のお申し込みをされた方には、当日お渡しします。購入されない場合は、必ずご持参下さい。 ●上記「お申し込み手順・ご注意」をご一読下さい				
参加者氏名 (フリガナ)		情報交流会 正会員番号 E - (正会員の方で料金の割引(正会員価格の適用)をご希望の方は、必ずご記入下さい。ご記入がない場合は、割引になりません。)		
勤務先名 (請求書宛名)		部署名		
請求書送付先 (〒 -)		都道府県 申込担当者氏名 (参加者と同じ場合は記入不要です)		
電話番号 (日中に連絡がとれる番号をご記入下さい)		FAX番号 (こちらに参加証をお送りします)		
参加者情報	◆業種について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 建設業 2. 設計事務所 3. 指定確認検査機関 4. 行政庁 5. 不動産業 6. 住宅メーカー・工務店 7. その他			
	◆担当業務について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 意匠 2. 構造 3. 設備 4. その他			
	◆業務対象建築物の構造種別 (主なもの) について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. RC造 2. S造 3. 木造 4. その他			
	◆担当業務経験年数について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 1年未満 2. 1年以上2年未満 3. 2年以上5年未満 4. 5年以上10年未満 5. 10年以上20年未満 6. 20年以上			
	◆建築関連資格について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 一級建築士 2. 二級建築士 3. 木造建築士 4. 構造設計一級建築士 5. 設備設計一級建築士 6. 建築設備士 7. 該当なし			
	◆講習内容に関する予備知識・経験について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 初心者 2. 構造計算プログラムの入力経験あり 3. 構造計算書の作成経験あり 4. その他			
	◆受講理由について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 知識を深めるため 2. 会社の指示・社外研修 3. その他			

個人情報について

お預かりした個人情報は、本講習会の受付、運営及び当財団のサービスに関する情報提供のために使用するとともに、個人情報保護法に基づき、適正に管理致します。請求書発送等の業務を外部に委託することがありますが、委託先につきましては、適切な事業者を選定し、秘密保持、安全管理等についての契約を締結して、適切な監督を行います。